

MYターン 体験記

～わたしの新しいステージを紹介します～

滋賀県出身
I turn



ほくでん情報テクノロジー株式会社

データセンター事業部
ソリューショングループ

山下 晋司さん(37歳)

山下さんは、2016年9月は埼玉在住で東京勤務でした。転職に至る経緯や転職活動、Iターンに至る軌跡、現在のお仕事と充実した北海道ライフについて伺いました。

これまでのキャリアとIターンへの決意

子どもの誕生をきっかけに、妻の故郷である北海道へIターン

出身は滋賀県で、大学時代を函館で過ごしました。卒業後は東京でソフトウェア関連の会社に就職し、10年ほどそこに勤めました。データセンターに配属されてシステム運用を4年ほど経験し、その後ネットワークやインフラサーバーの運用にも4年ほど携わりました。

北海道へのIターンを意識するようになったきっかけは2014年、ネットワーク構築部門に異動になってからです。客先での作業や常駐などが増え、帰りが遅くなったり、出張や土日出勤が増えたりと生活面での負担が大きくなりました。当時は上の子どもが生まれたばかりで、一人で育児を担うことになった妻にとっても重圧だったのだと思います。

帯広出身の妻の「北海道に帰りたいたい」という言葉で、北海道への転職・移住を考えるようになりました。

転職活動から採用まで

1年以上の時間をかけて、経験を活かせる企業を吟味

2014年の夏前には「北海道U・ターンサポートデスク」に登録しましたが、当時の仕事が忙しく、なかなか積極的に動くことができませんでした。経験を活かせるインフラ関係の職を希望していたのですが、実際に来るのは開発系のオファーが中心でした。「これは合わない」と感じて見送っていたところ、2016年のはじめに現在の会社からオファーがありました。

電力会社という母体があり、その子会社として一定の規模があるところ、仕事の上でも色々なことができるのではと期待できるところに魅力を感じました。面接の際には、実際にシステムを構成し、見積りまで考えて資料に起こすという課題がありました。見積りの経験は浅かったので不安でしたが、何とか評価していたき内定を得て、2016年10月よりデータセンターに配属となりました。

現在の仕事・生活と将来の目標

家族と過ごせる時間が増えてワークライフバランスは大きく向上

現在は営業職としてデータセンターに置くラックの構成を提案したり、サービスの企画や提案をしたりしています。前職ではシステムの運用がメインで、現在は導入の部分。同じシステムと言っても携わるフェーズが違うので、新しい知識を吸収しながら仕事にあたっています。現在はクラウド化などに関心のあるお客様も多いので、これからはデータセンターに限らずそのような変化に応じた提案もしていければと思っています。

転職して大きく変わったのはワークライフバランスです。以前は1時間かかっていた通勤時間が半分になりましたし、土日はきちんと休めたり、平日も過度な残業がなくなったりと、家族と過ごす時間が大きく増えました。「自転車に乗れるようになった」なんて、子どもの成長を見ることができるのは嬉しいですね。

U・ターンを 考えている方へのメッセージ

長期的な余裕を持つことで、 現職の多忙を縫っての転職活動を

「北海道U・ターンサポートデスク」に登録してから転職を決めるまで1年以上。「時間はかけたけれど、手間はかかなかった」というのが実感です。当時の業務が多忙で転職活動に集中できなかったこと、その一方で、子ども

がまだ2歳と小さく「小学校に上がるまでには」と、長いスパンで考えられたことで、焦らずに活動ができたのではないかと思います。

情報収集には移動時間などの隙間時間を利用していました。面接も東京で行ったのですが、仕事の昼休みをずらして予定を入れ、面接後は現場に直行していました(笑)。十分な準備はできませんでしたが、その分率直に話をすることができたのではないかと思います。

当時の同僚で札幌への転職を選んだ人は他にもいます。これから転職活動をする人へのアドバイスは…仕事内容だけでなく給与など条件面のチェックもしっかり行うこと。さまざまな角度から総合的に判断するのがいいと思います。

山下さんの勤務する企業情報

ほくでん情報テクノロジー株式会社

設立：1991年6月1日

資本金：2億円

代表：取締役社長 泉 高明

本社所在地：札幌市中央区大通東3丁目4番地

e・大通東ビル

事業内容：ITコンサルティングサービス、情報システムの開発・運用保守、情報処理機器の販売・リース、セキュリティサービス、インターネットデータセンター(H-IX)

▶詳しい情報は <https://www.hokuden-it.co.jp/>

わたしの OFF TIME

北海道に暮らしてみて魅力的なのは、やはり子育て環境のよさですね。札幌市内では車を30分ほど走らせれば、自然に囲まれた大規模な公園がいくつもあります。幼稚園なども、東京では「なかなか入れない」という声を聞きましたが、こちらではすんなり入ることができます。

帯広の妻の実家との距離が近くなったのも大きな変化です。車で3時間ほどで行けるので、やはり飛行

機の距離とは大違いです。数ヶ月に一回ペースで行き来して、子どもたちともよく交流してもらっています。

昨年の秋に下の子どもが生まれたばかりですが、子どもたちがもう少し大きくなったら、北海道を満喫できるいろいろな遊びにもチャレンジしてみたいですね。夏はキャンプ、冬はスキーやスノーボードにも連れて行きたいです。個人的には「ライジング・サン・ロック・フェスティバル」にも行ってみたいと思っています!

職場の上司から

豊かな経験とチャレンジ精神で 事業の中核を担える人材として期待しています。

山下さんとは一次面接でお会いしたのが初めてでしたが、その時から「こちらの質問にも明快に回答し、度胸がある」という印象を持っていました。企画が中心の我々の部署では、社外との折衝や社内への提案活動が主な業務内容になるので、説明能力が高いことはとても好印象でしたね。

入社後もこちらの期待に応えてくれていて、経験してきた業務とは違う範囲のことにも果敢に取り組んでもらっています。

IT業界は技術志向の方が多いですが、守備範囲が広く新しいことにも柔軟に対応できる山下さんはとても貴重な戦力です。

将来は事業全般をひっぱっていくリーダー的存在になってくれることに期待をしています。



データセンター事業部
ソリューショングループ
課長 佐川泰久